

立教大学池袋図書館



立教大学図書館

池袋キャンパス 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 TEL.03-3985-2809

伝統と革新の新図書館 誕生

サミュエル・メーザー (Samuel Mather) 氏の全面的な資金援助により1919年に開館した立教大学最初の図書館「メーザーライブラリー」(図書館旧館)、丹下健三氏の設計により1960年に開館した図書館新館、そして人文・社会・自然科学系図書館。これらの図書館は現在に至るまで、立教大学の学習・教育・研究活動に大きく貢献するとともに、学生や教職員に親しまれながら広く利用されてきました。特に「メーザーライブラリー」は、「図書館」という枠を超えた存在として、卒業生の心に刻まれています。

2012年に開館した「池袋図書館」は、これまでの図書館が果たしてきた役割を統合・一元化し、さらに発展させるため、長い年月にわたる利用を前提に建築計画を立て、随所に創意工夫を凝らして設計・施工しました。それは、時代の変化に対応できるフレキシビリティと時代の流行りに左右されることのない普遍性を兼ね備えた建物です。また、池袋キャンパスとの調和という観点から内外観ともに煉瓦を用い、モダン・クラシックを基調とした閲覧机や椅子、書架等をそなえました。

これまでの大学図書館は学術資料の収集・保存・提供を主たる目的としてきましたが、インターネットの普及とともに図書館を“舞台”とした情報リテラシー教育への関心も高まっています。「池袋図書館」は、従来の図書館機能にとどまらず、全ての閲覧エリアで無線LAN接続を可能とし、多くの閲覧席にLAN・電源コンセントを設置することでインターネット利用環境を向上させています。また、メディアセンターとの協働により600台にも及ぶPCを館内に用意しています。その他、学生の情報リテラシー獲得を支援するために、授業の1コマを利用した「授業内情報検索講習会」を中心とした多様な学習支援を展開しています。

近年、学生が能動的に知識や技能を獲得し、それを有効活用する手段を身につけるアクティブ・ラーニングが注目されています。「池袋図書館」には、情報共有のためのホワイトボードや大型ディスプレイ、PCを設置した大小8室のグループ学習室があります。また、多様な形態のグループがディスカッションをするなかで相互的な成果を追求していくための創造空間「ラーニング・スクウェア」には、移動・組み合わせを前提としたキャスター付きの椅子やグループワークに適した形状の机を配置し、学生のグループ学習をサポートしています。

今後、資料のデジタル化が進み、学びのスタイルが変化することで、「池袋図書館」のあり方も大きく変わるに違いありません。しかし、「メーザーライブラリー」がそうであったように、ここで学んだ体験は、多くの人々の記憶に留まることでしょう。私たちは、「池袋図書館」がそのような“場”であり続けることを心から望んでいます。

立教大学図書館



デスクライト付閲覧席(B1F)
LAN・電源コンセントが設置されています。



池袋図書館は、利用者が長時間滞在することを前提とした施設・備品を用意し、無線LANやPCなどICT環境を整えるとともに、アクティブ・ラーニングに対応したグループ学習室や講習会室も整備しています。

ICT 環境

ICT 環境を充実させ、図書館内での情報収集と学習・研究を強力にサポートしています。図書館内全域（地下2階除く）で無線LANの利用が可能です。また、地下1階～地上3階の全てのフロアにPC席を設け、各フロアのプリンターから自由に印刷できます。講習会室（50席×2室）のPCや貸出ノートPC（300台）を含めると図書館内では600台のPCが利用できることとなります。



グループ学習室

近年、グループ学習スペースへの需要が高まっています。図書館内外で学生が輪になって話をしながら学習を進める光景も、いたるところで見受けられるようになりました。グループ学習室8室（12人用×6室、18人用×2室）を2階に設置し、各室にはホワイトボードや大型ディスプレイ、PCを用意し、学生のインタラクティブな学びをサポートしています。



講習会室

多目的に使える講習会室（50席×2室）を用意し、授業の1コマを利用した「授業内情報検索講習会」を実施しています。講習会がない時間帯には、学部が展開する図書館資料を用いた授業や基礎演習などにも利用可能です。その他、机や椅子を移動させてグループで自由活発な議論をすることもでき、自在な空間利用ができます。



ラーニング・スクウェア

図書館エントランス奥の1・2階に位置するラーニング・スクウェアはグループワークに適した組み合わせ可能な机やキャスター付きの椅子、ホワイトボードを完備しています。ラーニング・スクウェア2階では、メディアセンターとの協働によるPC貸出カウンターがあり、ノート型PCの貸し出しとともに、PCヘルプサービスを提供。ゼミ等の仲間が気軽に集まり活発な議論を展開しています。



リフレッシュルーム、テラス

利用者の長時間滞在に配慮して、ペットボトル等のキャップ付飲料の館内持ち込みを認めています。また、飲料やパンの自動販売機を備えたリフレッシュルーム（地下1階）やテラス（3階）ではサンドイッチ等の軽食をとることもできます。その他、図書館のエントランス脇にはカフェも併設されています。



地上階（1階～3階）



インフォメーション（エントランス:1F）
池袋図書館の総合案内と入退館ゲートの管理を行います。



ラーニング・スクウェア（エントランス奥:1・2F）
グループワークができる学びの“場”です。



インフォメーションボード（OPAC端末奥:1F）
図書館からのお知らせや意見書への回答を掲示しています。



総合カウンター（1F）
資料の貸出・返却、自動書庫資料の受け渡しなどを行います。



ラーニングアドバイザー・PCヘルプカウンター（2F）
レポート作成支援やPC操作のサポートなどの学習支援を行います。



AVコーナー（2F）
映像資料や音楽CDを視聴できる19のブースがあります。



図書館エントランス(1F)／ラーニング・スクウェア(エントランス奥:1・2F)
図書館の碑銘「Γ Ν Ω Θ Ι Σ Ε Α Τ Τ Ο Ν」(汝 自身を知れ)がエントランス左手に掲げられています。

地下階（地下1階～地下2階）



ロフト書架（2層：B1F）
フロア高を活かした2層式の書架で、中型本を配架しています。



電動集密書架（B1F）
開閉速度が速く、エアセンサーにより安全性も高い書架です。



閲覧席（B1F）
デスクライトを設置した閲覧席（LAN・電源コンセント付）です。



展示コーナー（B1F）
常設展示「立教関係資料」と企画展示の2つのコーナーがあります。



自動書庫ステーション（B1F～3F）
自動書庫（B2F）の資料はB1F～3Fの全てのフロアに搬送可能です。



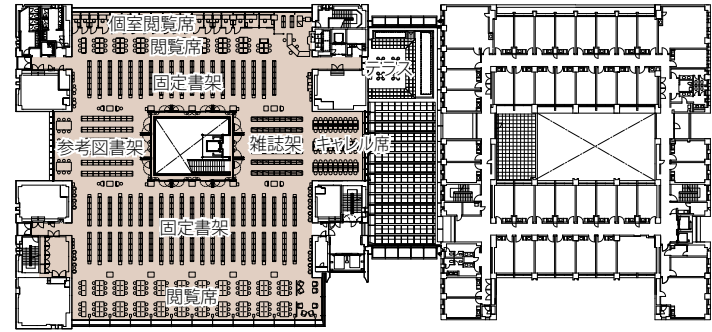
貴重書庫（B2F）
資料の保管に最適な環境（温度22度、湿度50%）が保たれています。



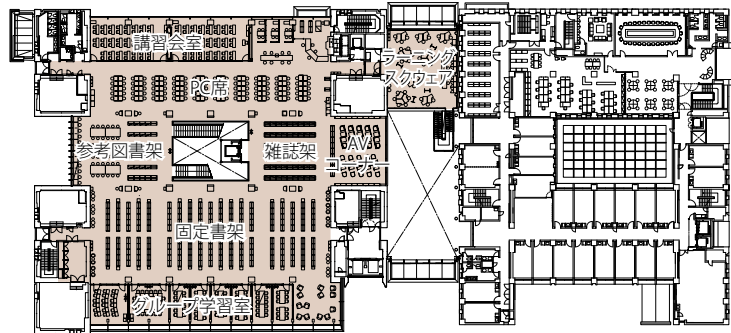
固定書架（手前）と2層式のロフト書架（奥）（B1F）
耐震強度を高めた照明付固定書架とフロア高を活かした2層式のロフト書架です。

フロアマップ

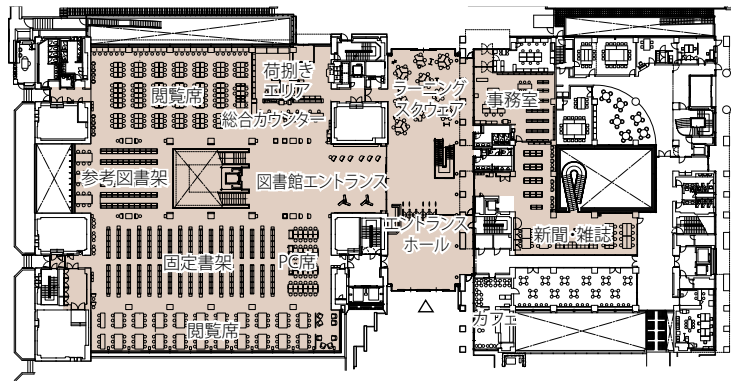
池袋図書館は、新築したロイドホール(地下2階～地上7階)の地下2階～地上3階および既存の12号館(地下2階～地上8階)の地下2階～地上1階で構成されています。地下1階～地上1階は階高を合わせ、図書館フロアとして一体的に運用しています。



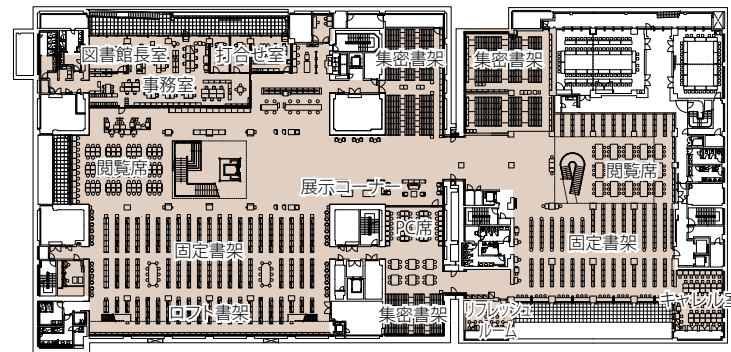
3階



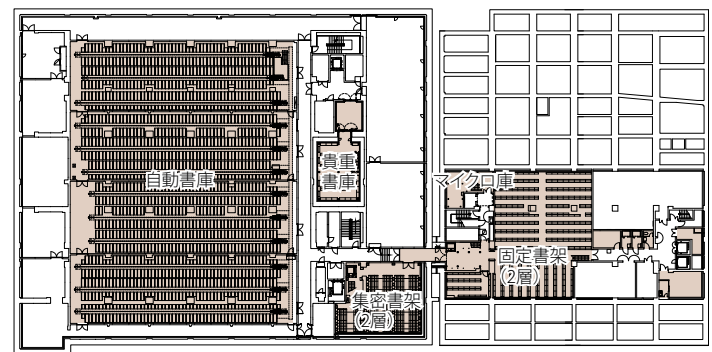
2階



1階



地下1階



地下2階



池袋図書館 概要

ロイドホール 地下2階～地上3階及び
 12号館地下2階～地上1階で構成
 延床面積 約19,000㎡
 閲覧席数 1,520席
 講習会室 100席(50席×2室)
 テラス・リフレッシュルーム 32席
 最大収蔵冊数 200万冊
 内訳 固定書架 60万冊
 電動集密書架 40万冊
 自動書庫 100万冊

設計監理：株式会社 日建設計

施工者 建築工事：清水建設株式会社

電気設備工事：東光電気工事株式会社

機械設備工事：株式会社 大気社

自動書庫工事：株式会社 岡村製作所

電動集密書架工事：丸善株式会社・金剛株式会社

固定書架家具工事：丸善株式会社・金剛株式会社

図書館家具工事：丸善株式会社

サイン/一般備品工事：株式会社 東武百貨店

ロイドホール工期：2010年8月1日～2012年7月31日

池袋図書館開館：2012年9月22日(地上階)

2012年11月7日(地下階)

写真(有) 米倉写真事務所
 編集・制作 株式会社 学研教育出版
 印刷・製本 立教プリンティングステーション

企画・発行 立教大学図書館
 発行日 2013年3月7日